



学校キャラクター「たしばにゃん」



# 「輝け！橘っ子」通信

橘小学校ホームページの  
QRコードです。

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力を持ち、たくましく夢を追求する児童の育成」  
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

12月4日から10日は人権週間でした。橘小学校では2日(火)に人権授業参観と人権コンサートを実施しました。この時期、全国的に学校や地域社会で人権について考える催しがたくさんあります。橘小学校ではさらに17日(水)に人権集会を、同じ日に「徳島県児童生徒のいじめ防止一斉学習 2025」を行います。差別やいじめのない学校や社会をつくっていくために、一人一人の子どもたちがしっかり考える機会にしたいと考えています。ぜひ、ご家庭でも学校での授業や集会の様子について子どもたちから話を聞いていただけたら嬉しく思います。よろしくお願いします。

## 人権授業参観・人権コンサートを実施しました！

12月2日(火)、人権授業参観と人権コンサートを実施しました。各学年では、次のようなテーマで人権について考える授業を行いました。1年生「じぶんやともだちのよいところを見つけよう」、2年生「友だちのいいところを見つけよう」、3年生「本当のことかな」、4年生「命と人権について考えよう」、5年生「インターネットモラルについて考えよう」、6年生「家族の絆について考えよう」、です。子どもたちは、自分や友達のよさを伝え合ったり、命や人権の大切さについて真剣に話し合ったりしました。また、インターネットの正しい使い方や誤った情報に惑わされないための工夫について考えた学年もありました。6年生は、「兵役に就く息子とそれを見送る母親の姿」から家族の絆について深く考えました。

続いて行われた人権コンサートでは、結成40周年を迎えられたブルーグラスバンド「サーティグラスボーイズ」さんの演奏を、児童・保護者・教職員が体育館で鑑賞しました。「ともだち」では、泣きたいときや苦しいとき、うれしいときにそばにいてくれる友達の大切さを、「人の値打ち」では、服装や肩書き・学歴で人の価値が決まるのは間違っていることを、「ハチドリのひとしずく(今 私にできること)」では、自分にできることに懸命に取り組む生き方の素晴らしさを、それぞれ心に響く歌と演奏で伝えてくださいました。10曲あまりの熱演の間、会場には笑顔と手拍子が絶えず、心温まる楽しいひとときとなりました。世界は、多様な背景や価値観を持つ人々で成り立っています。誰もが幸せを願い、一生懸命に生きています。だからこそ、お互いを認め合い、受け止め合い、支え合って生きていくことが大切です。今回のコンサートを通して、子どもたちにはそのような生き方をしてほしいと、改めて強く感じました。



1年生。自分のいいところは何か。



2年生。互いのいいところを伝えよう。



3年生。うその情報を見抜けるかな。



4年生。自分大切にされるって嬉しいね。



5年生。ネットモラルについて考える。



6年生。家族の絆について考える。



サーティグラスボーイズの演奏。



児童代表お礼の言葉。

## 人権橘支部研究大会

12月6日(土)、橘公民館で阿南市人権教育推進協議会橘支部の研究大会が開催され、2年生と6年生の児童が人権作文を発表しました。生活の中で気付いた「あってもいいちがひ、なくてもいいちがひ」について考えた2年生。視覚障がい者の方と共に生きるために自分がすべきことを考えた6年生。二人とも自信をもって堂々と発表し、参加された地域の方から大きな拍手をいただきました。会場には、橘小学校全児童の人権ポスターも掲示され、学校の人権学習の一端を見ていただく機会となりました。



2年生児童の発表。



6年生児童の発表

## 1・2年生 知恵の輪に挑戦！

12月5日(金)、1・2年生が生活科の勉強で、スクールガードの山Oさんとお友達の前Oさんから、知恵の輪遊びを教えていただきました。お二人はともに88歳。中学校からの親友だそうです。最初は知恵の輪をどうやってはずしたり、入れ込んだりするのかわからず、苦戦していた子どもたちも、辛抱強く何度も挑戦したり、先生に教えてもらったりしてできるようになり、とても嬉しそうにしていました。高齢者の方が子どもと自分でものを作って遊んでいたことを知り、子どもたちは「すごいなあ。自分たちに作れるかな。」と感じていました。



みんなすごい集中力を発揮です。



「ここをこうやって通すと外れるよ。」